

俳壇 宅建

俳句

老いたりし咳こむ母に寒さかな

変り幾く雲も流れて冬の空

山河にて夢追い旅よ冬びとの訪れ

徳島南支部 高橋剛
(高橋商事)

短歌

老夫婦妻の手を引き歩道行く

ゆるき歩みを見守りて立つ

朝なあさ妻の手を引く老夫婦

いたわる背なが朝陽に映ゆる

柿むきて紐につるして湯に通し

軒につるして秋を見るらん

柿すだれ朝日に映えて橙だいたいの

透けたる色が食をそそらん

徳島北支部 清水博

(あいあいホーム)

紅をさし風の迎えにヒラヒラと

もみじ葉どこへ嫁ぎ行きしや

事務局 藤中英子